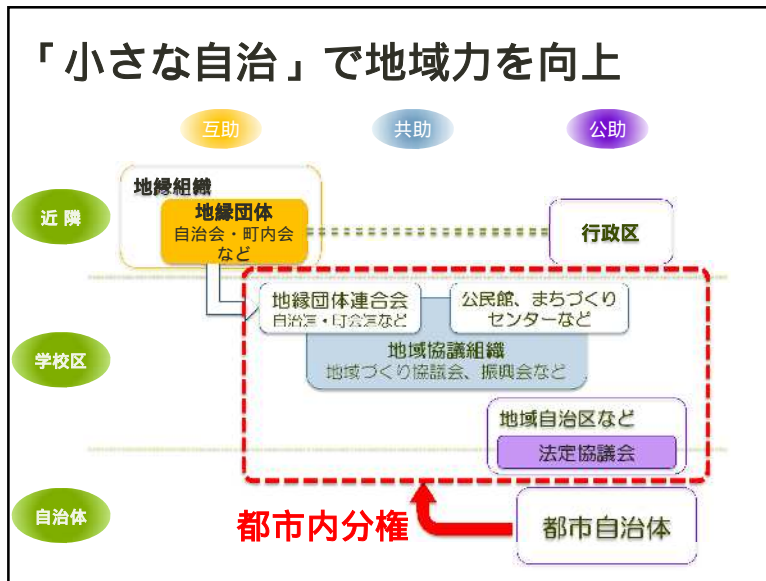
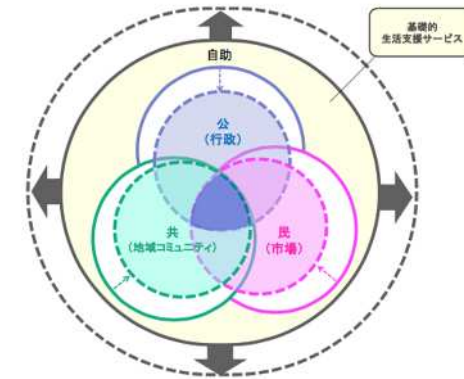
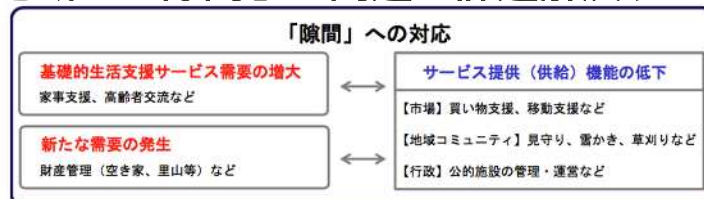


<住民自治によるまちづくりシンポジウム>

「基調講演（人口減少時代の地域づくりとひとづくり）」首都大学東京大学院 教授 大杉 寛

人口減少社会とは
地域が収縮し「隙間」が生じた社会？

(出典)総務省「暮らしを支える地域運営組織に関する調査研究事業報告書」

アプローチ：課題解決型
地域の「隙間」=問題を課題解決する

- 需要の増大にもかかわらず、サービス供給機能は低下。自助に委ねられる「隙間」が拡大が、自助も劣化傾向。
- この「隙間」を問題として捉え、具体的な課題解決を図ろうとするアプローチ。

アプローチ：共鳴共感型
「ニッチ」をチャンスと捉える

- 課題解決というよりも、新しい可能性を試す場・機会と捉える。
- 創造的な取り組みを促す。
- 連携・交流を促し、効率性・即効性といった“都市・ビジネスの論理”よりも、居心地の良さ、精神的な豊かさなど、“田舎・生活者の視点”を重視した、共感の関係を築く。

「見える化」と地域カルテ

- 地域で情報共有を図る上で、地域カルテの作成を通じた「見える化」は有意義。
- 地域カルテのタイプ
 - 「身体計測」型
 - 「健康診査」型
 - 「診断治療」型

地域カルテの有効活用による情報共有

- 地域カルテ作成の際には、地域住民の意向調査（アンケート、ヒアリング調査など）を行うとともに、ワークショップなど住民参加で作成するなどの工夫が求められる。
- 作成後は、広報による周知、常時閲覧可能にすること、また、作成したカルテを活用し、気づきを得る機会を設けることも重要。

5

地域資源を活かした共鳴共感の地域づくり

	地域資源	地域人材	地域ガバナンス
対象	自然、歴史、文化、芸術、伝統、産業など	人、組織・集団など	ローカル・ルール、集合的決定、実施など
活動	維持、継承、発掘、創造、発展など	学び、交流、人づくりなど	制度設計・運用、合意形成など
価値	誇り、愛着	希望、情熱	信頼、納得、共感

「地域創発」に向けた地域の3C

1. **つくるcreate** = クリエイティブな発想を起爆剤とする。「強み」を活かす。
2. **つなぐconnect** = ネットワーク型に、ヒト・モノ・カネ・情報を連携・共有し、他地域との連携をも視野に入れて、地域創発やイノベーションを促す。
3. **つづけるcontinue** = 持続可能なまちづくりにする。